

第 27 期 計 算 書 類

令和2年 4月 1日から

令和3年 3月31日まで

貸 借 対 照 表

個 別 注 記 表

株式会社ジェイアール貨物・東北ロジスティクス

貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	【 345,161,335 】	【流動負債】	【 197,763,208 】
現金	2,272,134	買掛金	9,431,840
普通預金	120,075,841	未払金	70,713,688
売掛金	1,909,952	未払費用	27,251,495
未収収益	175,349,536	前受金	608,300
未収金	30,384,133	未払消費税等	20,921,000
貯蔵品	4,032,168	預り金	6,405,705
前払金	11,028,135	未払法人税等	6,430,800
立替金	109,436	賞与引当金	52,452,094
		リース債務(短期)	3,548,286
【固定資産】	【 41,746,502 】	【固定負債】	【 15,352,952 】
(有形固定資産計)	(15,650,197)	退職給付引当金	9,947,552
建物附属設備	2	役員退職慰労引当金	5,405,400
機械装置	562,505	リース債務(長期)	0
車両運搬具	11,651,538		
工具器具備品	3,436,152	負債の部合計	213,116,160
		純資産の部	
(無形固定資産計)	(45,000)	【株主資本】	【 173,791,677 】
電話加入権	45,000	【資本金】	【 30,000,000 】
(投資その他の資産計)	(26,051,305)	【利益剰余金】	【 143,791,677 】
敷金	616,000	(その他利益剰余金)	(143,791,677)
保証金	50,000	繰越利益剰余金	143,791,677
リサイクル預託金	141,140		
繰延税金資産	25,244,165	純資産の部合計	173,791,677
資産の部合計	386,907,837	負債・純資産の部合計	386,907,837

個別注記表

I 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1 資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品 先入先出法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)によっております。

商 品 個別法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)によっております。

2 固定資産の減価償却の方法

(1)有形固定資産(リース資産を除く)

平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物については定額法、その他は定率法によっております。

(2)リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零(リース契約に残価保証の取決めがある場合は、当該残価保証額)とする定額法によっております。

3 引当金の計上基準

(1)賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額のうち当期負担分を計上しております。

(2)退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、退職金規程に基づく当期末自己都合退職要支給額から中小企業退職金共済からの支給相当額を控除し、新会計基準(簡便法)による繰入必要額を計上しております。

(3)役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく当期末要支給額を計上しております。

4 繰延税金資産及び繰延税金負債等の表示方法

企業会計基準第28号「税効果会計に係る会計基準」の一部改正(平成30年2月16日公表)を適用し、繰延税金資産・繰延税金負債は固定区分のみとしております。

5 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜き方式によっております。

II 株主資本等変動計算書に関する注記

当期末における発行株式の数は、普通株式 600株であります。

III 当期純損益について

当期純損益は5,718,805円であります。